

～航空局からのお知らせ～

★～ご注意を！小型機の人カトーイング中にパイロットが負傷（事例共有）～

トーパー※を用いて、小型機を人力にてトーイング中に、作業員（本事例においてはパイロットの方）が負傷（腰椎椎体骨折）した事例について紹介いたします。

当該パイロットは、小型機（単発レシプロ固定翼機）を、スポットイン後に、トーイングにより駐機位置を調整するため、トーパー（※先端（フック部）が二股にわかれた、長さ1メートル弱の棒状の金属製のもの）を、ノーズギアのピンに掛けて、トーパーを操作しながら航空機を移動させていたところ、フックが外れ、はずみで転倒し、負傷（腰椎椎体骨折）されました。

フックが外れた要因は、このトーパーの先端（フック部）に変形（フックの切込入り口の広がり）があり、左右に向きを動かしていた際に、フックがピンから抜けたものと推定されています。なお、変形の要因は経年使用によるものと推定されています。

当事者の方は、これまでフックの掛かり具合の違和感もなくトーイングできていたことから、変形に気付かず、外れることも予見できなかった、とのことでした。

当事者におかれては、トーパーを交換し、また、マニュアルに、トーパーの点検や、装着時にノーズギアのピンとトーパーのフックに隙間が無いかなどの点検をすることなどの注意点を記載し、都度実施することとされました。

同様な作業を行うことが想定される操縦士の皆様におかれては、本事例を参考に、同様なお怪我を負うことがないように、十分注意してトーイングをはじめとした空港内作業に当たられますよう、ご注意下さい。

本件についての問い合わせ先 : 航空局空港安全室 電話 03-5253-8111（内線 49562）

<小型機安全担当～あとがき～>

空港内作業に従事される皆様におかれましては、常に怪我を負うリスクと隣り合わせの環境で作業されているものと思います。不具合事案の防止のためには、日頃からの慣れによらない、基本的な作業手順の遵守が欠かせないと考えます。本事例の共有が、皆様の安全運航につながることを期待します。

国土交通省 航空局 安全部安全政策課

MAIL : hqt-kogataki@mlit.go.jp

TEL : 03-5253-8111（内線 50135・50136）

小型機安全担当

～Twitter もやっています～

[https://twitter.com/mlit\\_kogataki](https://twitter.com/mlit_kogataki)